



Bass Recital

Ars nova 音楽の祭典/TAKAOKA冬の音楽祭
第35回「とやま賞(文化・芸術部門)」受賞記念公演

Bass Masashi Mori

2018 12.22
www.masashimori.com

森 雅史 バス・リサイタル

高岡公演：12月22日(土) 開場 15:30 開演 16:00

会場：高岡市生涯学習センターホール (ウイング・ウイング高岡4F)

チケット：一般 4,000円 学生 2,000円 ※一般のみ当日 500円高 (全自由席)

チケット発売日：10月20日(土)

プレイガイド：(公財) 高岡市民文化振興事業団事業課 (電話予約可:0766-20-1560)、
高岡市ふくおか総合文化センターUホール、高岡市生涯学習センター、アーツナビ(富
山県高岡文化ホール、富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール)

出演：森 雅史(バス) マッティア・オリヴィエーリ(バリトン) 岩渕慶子(ピアノ)

主催：(公財) 高岡市民文化振興事業団

共催：高岡市・高岡市教育委員会・北日本新聞社

後援：森雅史後援会

協力：高岡市民会館ホールサポーターの会「パール」
お問い合わせ：高岡市民文化振興事業団事業課 TEL 0766-20-1560
未就学児のご入場はご遠慮ください。都合により内容が一部変更になる場合がございますが、予めご了承ください。



Baritone (女情出演)
Mattia Olivieri



Piano
Keiko Iwabuchi

第35回「とやま賞(文化・芸術部門)」受賞記念公演

Bass Recital

2018 12.22 at Takaoka

Bass **Masashi Mori**

Baritone (友情出演) **Mattia Olivieri**

Piano **Keiko Iwabuchi**

Ars nova 音楽の祭典/TAKAOKA冬の音楽祭

第35回「とやま賞(文化・芸術部門)」受賞記念公演

森 雅史 バス・リサイタル

高岡公演：12月22日(土) 開場 15:30 開演 16:00

会場：高岡市生涯学習センターホール (ウイング・ウイング高岡4F)

チケット：一般 4,000円 学生 2,000円 ※一般のみ当日 500円高 (全自由席)

チケット発売日：10月20日(土)

プレイガイド：(公財)高岡市民文化振興事業団事業課電話予約できます/0766-20-1560、
高岡市ふくおか総合文化センターUホール、高岡市生涯学習センター、アーツナビ(富山県高岡文化ホール、富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール)

出演：森 雅史(バス) マッティア・オリヴィエーリ(バリトン) 岩淵慶子(ピアノ)

主催：(公財)高岡市民文化振興事業団

共催：高岡市・高岡市教育委員会・北日本新聞社

後援：森雅史後援会

協力：高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」

お問い合わせ：(公財)高岡市民文化振興事業団事業課 TEL 0766-20-1560

未成年者のご入場はご遠慮ください。都合により内容が一部変更になる場合がございますが、予めご了承ください。

森 雅史：バス (Masashi Mori : Bass)

富山県高岡市出身。国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。第19回イタリア・サンタ・マルゲリータ・リグレ国際声楽コンクール第2位。第39回イタリア声楽コンクールにおいてシエナ大賞(部門第1位)受賞。

2008年文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学し、往年の名バス歌手、故ボナルド・ジャイオットティ氏に師事。その後、ポローニャ歌劇場付属オペラ研修所に在籍し、ローム・ミュージック・ファンデーション研究生として助成を受ける。

ポローニャ歌劇場では、ニコラ・ルイソツティ指揮『サロメ』、ミケーレ・マリオツティ指揮『椿姫』などのオペラ作品やバッハ「マタイ受難曲」、リスト「スターバト・マーテル」といった宗教作品等、数多くの演奏会にソリストとして出演。イタリア国内ではナポリ・サン・カルロ歌劇場、キャリアリ歌劇場をはじめマルティナーフランカ・オペラフェスティバルにもソリストとして出演を果たす。2011年にはポローニャ歌劇場来日公演、ベッリーニ『清教徒』城主ヴァルトン卿役で唯一の日本人キャストとして出演し、好評を博している。2012年ドイツ・ドレスデン州立歌劇場(ゼンパー・オーバー)での『ドリーナとニッピオ/コントラシェーナ』出演を経て同歌劇場コングス・アンサンブルメンバーとして在籍し、様々なオペラ作品に出演。

国内では、佐渡裕プロデュース・オペラ『トスカ』、『セヴィリアの理髪師』、『椿姫』、『真夏の夜の夢』をはじめ、全国共同制作オペラ『～庭師は見た～フィガロの結婚』(指揮：井上道義、演出：野田秀樹)、『トスカ』(指揮：広上淳一、大勝秀也、演出：河瀬直美)等オペラ作品の他、宗教曲のソリストを務めるなど精力的に活動している。

『第7回 岩城宏之音楽賞』受賞。『第35回 とやま賞(文化芸術部門)』受賞。二期会会員。現在、名古屋音楽大学専任講師。

マッティア・オリヴィエーリ：バリトン (Mattia Olivieri : Baritone)

ポローニャ G.B. マルティナーニ音楽院卒業。マウリツィオ・レオーニに師事し、2009年よりポローニャ歌劇場付属オペラ研修所に在籍。その後、スペイン・バレンシア州立歌劇場にてブラシド・ドミンゴ氏の下研鑽を重ね、同歌劇場他、ミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、ヴェローナ野外劇場、サン・パウロ歌劇場他、ヨーロッパの名だたる主要歌劇場に出演。主要キャストとして脚光を浴び、ヨーロッパ・オペラ界における人気歌手の一人となる。2018年11月には初来日し、新国立劇場『ファルスタッフ』フォード役で出演を予定している。これまでに、リッカルド・ムーティ、リッカルド・シャイー、ファビオ・ルイーダ、ミケーレ・マリオツティ、アンドレア・バツティストーニ等と共演を重ね、信頼も厚い。端正な容姿と美声を兼ね備えた今後の活躍が更に期待される若手バリトン歌手である。

岩淵慶子：ピアノ (Keiko Iwabuchi : Piano)

玉川大学文学部芸術学部首席卒業。2005年渡伊。イタリア国立ミラノ・G.ヴェルディ音楽院ピアノ科ディプロマ取得。同大学院コレパティトゥア科を日本人ピアニストとして初めて修了した後、ポローニャ市立歌劇場付属オペラ研修所コレパティトゥア科を成績優秀で修了する。同研修所では、著名な指揮者や声楽家によるマスタークラスやコンサートの伴奏ピアニストをはじめ、オペラ公演のアシスタントピアニストを務める。これまでにスイスやイタリアのオペラフェスティバル、また数々のコンサートやマスタークラス、コンクールにおいてコレパティトゥア・ピアノ伴奏を務め、的確な様式解釈を踏まえたその献身的な演奏は、歌手や指揮者からの信望が厚い。

2011年からは、ドイツ・ドレスデン州立歌劇場(ゼンパー・オーバー)で、3シーズンに渡りコレパティトゥアを務める。現在は新国立劇場オペラ研修所で後進の指導にあたる傍ら、4年に渡りPMFヴォーカル・アカデミーの伴奏を担当するなど、伴奏ピアニスト等としても勢力的に活動している。平成23年度第22回五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。

-Program-

歌劇『セヴィリアの理髪師』より アリア“陰口はそよ風のように”

歌劇『ジョコンダ』より アリア“彼女は死なねばならぬ”

歌劇『ドン・カルロ』より 二重唱“貴公は残られよ!”

歌劇『チェネントラ』より 二重唱“重要なるひみつを” 他

www.masashimori.com